

事業評価一覧

①オープンスペースの確保と緑化による防災性の向上		(1) 防災に役立つ水とみどりの整備・活用										1 基本方針1: 区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる							
整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
1	88	まちづくり事業との連携	防災上役立つ公園など緑地のあるオープンスペースの確保(サードプレイスとして活用できるように配慮)	公園都市木密防災	・市街地再開発事業 ・風の道等の確保(No.16) ・開発事業者による広域的な緑の保全・創出(No.24) まちづくりの進展により地域課題が解消されるとともにみどりの創出が促進される	継続	継続	継続	■旗六公園の新設整備	■天王洲アイランド第五水辺広場の整備 ■夕陽公園の整備(市街地再開発事業)	A	-	出石こいこい広場の新設整備	A	-	■豊町5丁目防災広場拡張	・事業進捗による整備数のバラつきが生じている	・事業進捗を踏まえた公園整備時期の調整を行う	-
2	88	防災広場や防災拠点としての公園整備	密集市街地を中心に、災害発生時に避難場所や活動拠点として利用できる広場の整備	公園木密防災	・密集市街地整備促進事業 地域の防災力向上とともにみどりの創出が図られる	39箇所	44箇所	49箇所	■旗六公園の新設 ■防災広場の拡張整備 2箇所 計40箇所	■西大井3丁目(791.0m <sup>2</sup> )の整備 計41箇所	B	93% (41/44)	■二葉三南防災広場、西六一 防災広場の整備 計43箇所	B	97% (43/44)	■東品川海上公園拡張 ■子どもの森公園改修	・用地の確保に向けた手法やスキームの検討が必要	・事業の積極的な周知と、地域からの用地情報の収集を行う	-
3	88	公園緑地の防災機能の向上	身近な公園緑地における防火貯水槽やかまどとして利用できるベンチ等の設置、火に強い樹木(防火樹)の植栽	公園	・防災に関する各種事業 公園の整備とともに防災施設が整備され地域の防災力の向上につながる	継続	継続	継続	■しながわ区民公園の再整備 ■源氏前公園などで、マンホールトイレ、防火貯水槽を整備	■しながわ区民公園で、マンホールトイレを整備	A	-	■浜川北公園でマンホールトイレ等を整備	A	-	■東品川海上公園拡張 ■子どもの森公園改修	・防災施設設置、管理に関する地域の理解が必要	・地域の要望を収集するとともに設置後の管理について協議する	・公園改修の際に地域意見を収集予定

②災害に備えた水辺の活用		(1) 防災に役立つ水とみどりの整備・活用										1 基本方針1: 区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる							
整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
4	89	災害時の避難や物資経路となる水運の活用	近隣自治体や民間事業者等との協働によるルートづくりの検討	防災	-	継続	継続	継続	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてルート等の検討	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてルート等の検討	A	-	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてルート等の検討	A	-	船着場ごとのカルテが完成予定、カルテに基づき、水運および船着場からの陸運を含めた実行性の確保を進める	・船着場ごとのカルテを作成後、実行性により、船着場の優先順位を決める必要がある ・船着場から避難所や拠点など陸上のルートを検討する	・引き続き、他自治体の状況を把握し水運の活用を具体化する	-
5	89	民間事業者との連携強化	災害時の物資輸送や被災者の移動等の確保のための防災協定締結等、民間事業者との連携強化	防災	-	継続	継続	継続	■人員・物資の海上輸送について、事業者と災害時協力協定を結んでおり、担当者や協定内容の確認を実施	■人員・物資の海上輸送について、事業者と災害時協力協定を結んでおり、担当者や協定内容の確認を実施	B	-	■人員・物資の海上輸送について、事業者と災害時協力協定を結んでおり、担当者や協定内容の確認を実施	B	-	可能な限り他の事業者と災害時協力協定の締結を図る	・東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会への参加が必要	・可能な限り他の事業者と災害時協力協定の締結を図る	-
6	89	船着場背後地を含めた災害時の船着場のネットワーク構築	災害時に陸上交通網が寸断された場合に、船着場背後地を含めた船着場を活用できるよう、ネットワーク構築	防災河・下	-	協議・調整計画検討	協議・調整計画検討	協議・調整計画検討	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてネットワーク構築	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてネットワーク構築	A	-	■東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会においてネットワーク構築	A	-	引き続き、他自治体の状況を把握し水運の活用を具体化する	・東京都や他自治体と水上ルート確保に向けた検討会への参加が必要	・引き続き、他自治体の状況を把握し水運の活用を具体化する	-
7	89	船や船着場を活用した訓練の実施	物資輸送や被災者の移動など船や船着場を活用した防災訓練の実施	防災河・下	・災害時の避難や物資経路となる水運の活用 災害時の体制強化	継続	継続	継続	■東京都・品川区合同防災訓練	■港湾局主催 令和5年度防災船着場 防災訓練	A	-	■令和6年度の防水訓練で、救命ボートの操作訓練等を実施	A	-	港湾局主催 令和7年度防災船着場 防災訓練予定	・船着場ごとの優先順位や、利用目的を明確化した訓練が必要	・船着場ごとのカルテを確認し、目的に合わせた訓練を実施する	・船や船着場を活用した訓練を継続的に実施予定

③都市型水害に強いまちづくり		(1) 防災に役立つ水とみどりの整備・活用										1 基本方針1: 区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる							
整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
8	90	雨水流出抑制対策の推進	区有施設における雨水浸透ます等の流出抑制施設の設置の推進及び、一般住宅等への設置に対する助成の推進	河・下	-	継続 4件/年	継続 4件/年	継続 4件/年	■助成件数:0件	■助成件数:1件	B	13% (0.5/4)/年	■助成件数:0件	B	-	■助成件数:1件	・一般住宅に雨水流出抑制施設を設置するスペースが無いことや、雨水流出抑制施設を設置した区民にメリットが感じられないことから、助成件数が少ない	・建築家協会などの住宅建設関係団体に助成制度の周知を行う ・広報紙、各種SNSやデジタルサイネージ等による助成制度の周知を強化	雨樋から川までの水の流れや雨水の流出を抑制する大切さをPRする動画の作成を検討
9	90	雨水排水施設の建設	下水道能力増強工事の受託事務の推進及び、さらなる浸水対策の動きかけ	河・下	-	継続	継続	継続	■第二戸越幹線整備	■第二戸越幹線整備	A	-	■第二戸越幹線整備	B	-	■第二戸越幹線整備	-	-	-
10	90	雨水利用タンクの普及	雨水利用タンク設置助成の推進	河・下	-	継続 14件/年	継続 14件/年	継続 14件/年	■助成件数:3件	■助成件数:2件	B	18% (2.5/14)/年	■助成件数:6件	B	43% (6/14)/年	■助成件数:10件	・助成件数が少ない	・広報紙、各種SNSやデジタルサイネージ等による助成制度の周知を強化 ・各種イベント時に助成制度を周知する	・「エコルとごし」での企画展示等での周知を継続する

①生物生息空間の保全・再生		(2) 都市における生物多様性保全の配慮										1 基本方針1: 区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる							
整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
11	91	既存干潟・砂浜の保全再生	既存の干潟を保全及び、干潟や砂浜の再生	河・下	-	継続	継続	継続	-	-	C	-	-	C	-	-	・既存の干潟は東京都が管理する大井ふ頭中央海浜公園にあるが、新たな干潟や砂浜の保全等に対する要望はない	・情報収集に努め、適切に対応する	-
12	91	生物生息空間(ビオトープや池)の保全	公園や学校等の施設内に既存するビオトープや池の保全を推進	公園教育	・学校教育関係事業 生物生息空間を用いた生物多様性の教育に活用が望まれる	継続	継続	継続	■3箇所(東品川屋上公園、武蔵小山緑道内のビオトープ、戸越公園の池)の管理	■現有のビオトープ・池の管理	B	-	■現有のビオトープ・池の管理	B	-	■現有のビオトープ・池の管理	・ビオトープや池などの生物生息空間の拡充が必要	・公園改修の際に地域の意見を聞きながら整備計画を作る中で選択肢として問いかける	-
13	91	生物多様性地域戦略の策定	緑の保全・創出及び、生き物の生息・生育環境の維持回復の取り組み強化等の、生物多様性地域戦略を策定	公園	-	検討	策定済	策定済	■計画の策定	■周知と理解の促進(生物多様性パンフレットを用いた周知啓発)	A	-	■周知と理解の促進(生物多様性パンフレットを用いた周知啓発)	B	-	■周知と理解の促進(生物多様性パンフレットを用いた周知啓発)	・計画の進捗確認が必要	・地域戦略に記載の各事業を実施し、適切に進行管理する	-

②施設のエコアップ (2)都市における生物多様性保全の配慮 1 基本方針1:区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等			
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
14	92	生き物の生息空間に配慮した公園管理	生き物の生息空間に配慮した公園の維持管理の推進	公園	-	継続	継続	継続	■公園樹木の剪定、除草	■公園樹木の剪定、除草	A	-	■公園樹木の剪定、除草	A	-	■公園樹木の剪定、除草	・通常の除草等の管理と生物生息空間に配慮した取り組みの差別化が図られていない	・生物生息空間に配慮した樹木管理の実施と、区民への周知を行う	-

③継続的な生物生息状況の把握 (2)都市における生物多様性保全の配慮 1 基本方針1:区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等			
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
15	92	生物調査の実施	区内の生物多様性の保全及び、区民への情報提供のために、5年に一度の生物調査を実施	公園河・下	・まちづくり事業との連携(No.1)基礎資料として活用	調整	実施1回	1回	-	-	C	-	-	C	-	-	・生息環境の保全のために、品川区区内に生息する生き物の周知が必要	・品川区内の生物をハフレットを活用し周知することで、環境に対する意識向上を図る	・令和8年度に生物調査を実施予定

④ヒートアイランド現象の緩和 (2)都市における生物多様性保全の配慮 1 基本方針1:区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等			
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
16	93	風の道等の確保	海からの冷気を持った風がまちに流れる「風の道」の形成を図り、雨水浸透施設の整備や沿道における街路樹、壁面緑化等による緑化を推進	公園河・下	・まちづくり事業との連携(No.1)沿道の緑化を推進することで、ヒートアイランド現象の緩和に貢献している	継続	継続	継続	■みどりの条例に基づいた緑化計画書の指導 ■雨水流出抑制施設設置要綱に基づいた、雨水浸透施設等の設置指導	■みどりの条例に基づいた緑化計画書の指導 ■雨水流出抑制施設設置要綱に基づいた、雨水浸透施設等の設置指導	A	-	■みどりの条例に基づいた緑化計画書の指導 ■雨水流出抑制施設設置要綱に基づいた、雨水浸透施設等の設置指導	A	-	■みどりの条例に基づいた緑化計画書の指導 ■雨水流出抑制施設設置要綱に基づいた、雨水浸透施設等の設置指導	・目黒川沿川における建築計画について、風の道を意識し、まちなかに風を取り入れることを見込む建物形状・配置となるよう、関係部署との協議が必要	・関連部署との連携を図りつつ、沿道の緑化を推進していく	-

①水とみどりの骨格づくり (1)水とみどりの拠点づくりとネットワーク化 2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等			
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
17	95	河川や運河の緑化推進	緑化の推進及び、河川や運河沿いの道路、歩道の街路樹の整備を推進	公園道路河・下	・水辺の散歩道整備(No.19)水辺を活かしたみどりのネットワークの充実	継続	継続	継続	■樹木管理委託による、区内全域の街路樹の低木刈込、中高木剪定、補植、除草など	■街路樹の低木刈込、中高木剪定、除草、低木等の補植	A	-	■樹木管理委託による、区内全域の街路樹の低木刈込、中高木選定、補植、除草など	A	-	■樹木管理委託による、区内全域の街路樹の低木刈込、中高木選定、補植、除草など	・干害などによる樹木の枯損 ・夏期の灌水などの維持管理 ・目黒川等の護岸への緑化については整備手法の検討が必要	・夏期の灌水の実施、夏季剪定など適切な維持管理をしていく	-
18	95	保存樹木・保存樹林の指定などまどりのある樹林地の保全	保存樹木の指定を推進、所有者の維持管理への負担軽減のため基本剪定などの維持管理の一部を実施し、まどりのある樹林地の保全を推進	公園	・地域の緑化推進 みどりの保全	継続	継続	継続	■保存樹木および保存樹林の維持管理	■保存樹木および保存樹林の維持管理	A	-	■保存樹木および保存樹林の維持管理	A	-	■保存樹木および保存樹林の維持管理	・指定の解除は所有者の意向で自由なため、建築計画等の理由で指定解除となる保存樹が発生している	・樹木や樹林の所有者に新規に指定する際や助成を申請する際、継続的な指定を促す	-

②水辺を活かしたみどりのネットワークの充実 (1)水とみどりの拠点づくりとネットワーク化 2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等			
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗 事業実績および検討状況	R5年度の進捗 事業実績および検討状況	達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R6年度の進捗 事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価) (5段階評価) (中間年度に対する達成割合)	R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
19	96	水辺の散歩道整備	水辺に沿った散歩道の整備及び、護岸緑化などによる景観性向上を図り、水辺とみどりの連続性を強化しネットワーク機能の充実を推進	道路河・下	・河川や運河の緑化推進(No.17)水辺を活かしたみどりのネットワークの充実	継続	継続	継続	■河川管理用通路の根上り対策工事	■河川管理用通路改修工事	A	-	■河川管理用通路補修工事	A	-	■河川管理用通路の適切な管理のために目黒川の河川管理用通路台帳を作成 ■目黒川の転落防止策を景観を考慮したデザインも含めた改修のための設計を実施	・景観向上や水辺を身近に感じることのできる環境整備の方法を検討する必要がある	・運河や河川沿いの景観向上や環境整備について、緑化のあり方も含め検討する	-
20	96	天王洲・京浜・勝島運河等の回遊性向上	運河等の回遊性向上のため、天王洲水辺広場の拡張や勝島運河における人道橋等の検討・整備の実施	河・下都市道路公園	・運河ルネサンスとの連携(No.54) ・水際の交流空間の形成(No.56) ・地域ぐるみでの水辺の名所づくり水辺の活用	継続	継続	継続	■人道橋詳細設計、都市計画図書作成 ■天王洲水辺広場整備工事	■都市計画公園の変更(勝島運河公園)	A	-	■しながわ花海道水辺広場改修基本・実施設計 ■勝島人道橋整備工事(下部工)整備	A	-	■勝島人道橋整備工事(下部工・上部工)整備	・東京都港湾局がしながわ花海道水辺広場での高潮対策事業を予定している。	・都と情報を共有しながら事業間の調整を行う。	-
21	96	みどりのみちの整備、道路沿いの街路樹の保全	みどりのみちの整備及び、道路沿いの街路樹の補栽及び適正な維持管理による美しい景観づくりを推進	公園道路	・まちづくり関連事業 面的なまちづくり事業とそれらをつなぐ線となるみどりのみち事業が連携することにより、線のネットワークの充実につながる	継続	継続	継続	■みどりのみちの整備(145m)※立会川緑道(約550m)の連続したみどりのみちが完了	■立会川(その2)児童遊園の整備	A	-	■立会川児童遊園(その3)の整備	A	-	-	・ネットワークの充実が必要 ・みどり・安全・利便性と両立が必要	・関連部署と連携し、水とみどりのネットワークの充実を図る ・地元住民と調整を図り協力していく ・次の整備路線を選定する	-
22	96	公園内における使いやすいランニングステーション整備	身近に利用しやすい公園にするために、公園内にランニングステーションの整備を検討	公園	・健康増進関連事業 気軽に運動できる場の提供により区民の健康増進につながる	検討・整備	検討・整備	検討・整備	■しながわ区民公園の再整備による外周道路の整備	■しながわ区民公園内のランナーの拠点となるクラブハウス(更衣室・シャワー)利用促進の検討 ■距離サイン設置	A	-	- (令和7年度予算要求に立案したが、予算措置なし)	C	-	■しながわ区民公園内のランナーの拠点となるクラブハウス(更衣室・シャワー)利用促進の検討	・区民公園内クラブハウスのランニングステーションとしての運用促進が必要	・区民公園内ランニングステーションの整備内容・運用内容の検討を行う ・検討内容に即して改修を実施する	-

①緑化の推進 (2)水とみどりに親しめる環境整備 2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)								今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
						基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価)	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
23	97	民有地緑化制度の見直し、充実	「民有地緑化制度」及び、「緑化の手引き」など関連書の見直しの検討 建築行為を行う事業者への緑化指導内容等の検討及び、地域特性を活かした樹種選びなど適正な指導の推進	公園	-	継続 90% (99件)	継続 95% (105件)	継続 100% (110件)	■緑化指導件数:89件	■緑化指導件数:92件 (うち、理由書14件)	B	88% (92/105)	■緑化指導件数:103件 (うち、理由書6件)	B	-	■緑化指導	・民有地緑化制度の活用	・他自治体の事例収集を行いながら内部検討を進めていく	-			
24	97	開発事業者による広域的な緑の保全・創出	開発事業者に対して、再開発区域内に広域的なみどりの保全・創出、適正な管理を図られるよう調整	公園 都市	・まちづくり事業との連携(No.1) ・生物多様性に配慮した空間の創出 またまとった緑などが創出されるので、生物多様性に配慮した空間を創出できる機会となる	継続 -	継続 -	継続 -	■再開発事業等におけるみどりの創出件数:3件	■再開発事業等におけるみどりの創出件数:2件	B	-	■再開発事業等におけるみどりの創出件数:0件	B	-	■再開発事業等におけるみどりの創出の推進	・開発事業者に対する生物多様性に配慮した空間整備の考え方の周知が必要	・生物多様性地域戦略を用いた開発事業者に対する緑化指導を実施する	-			
25	97	公共施設の緑化推進	公共施設において、民有地緑化のモデルとなるような緑化の推進 公共用地において、緑化可能な敷地について調査し、今後の緑化につなげる	公園 教育	-	継続 -	継続 -	継続 -	-	-	C	-	-	C	-	■各公共施設の管理者による施設改修工事に合わせ、外構の緑化推進を促す	・各公共施設管理者の緑化に対する意識の醸成が必要	・各公共施設の管理者による施設改修工事に合わせ、外構の緑化推進を促す	-			
26	97	みどりのモデル地区の指定	区域一帯をみどりの保全モデル地区またはみどりの推進モデル地区として指定	公園	-	継続 1件	継続 1件	継続 1件	■指定済み:1件(継続) ■新規指定:0件	■指定済み:0件(終了) ■新規指定:1件	A	100% (1/1)	■指定済み:1件(継続) ■新規指定:0件	A	-	■指定した地区の緑化を推進	・令和5年度より平塚二丁目会 で実施しているが、最長5年間の 支援のため、自主性の構築が必要	・講師を派遣する等、自主的な活動ができるよう支援する	-			
27	97	都市公園の整備	都市公園の整備を継続して推進	公園	・市街地再開発事業 まちづくりの進展により地域課題が解消されるとともにみどりの創出が促進される	継続 149箇所	継続 150箇所	継続 152箇所	■旗六公園の新設整備	■夕陽公園の整備(市街地再開発事業) 計148箇所	B	99% (148/150)	-	C	-	-	・事業進捗による整備数のバラつきが生じている	・事業進捗を踏まえた公園整備 時期の調整などを行う	-			

②小スペースを活かしたみどりづくり (2)水とみどりに親しめる環境整備 2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)								今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
						基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価)	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
28	98	マイガーデンの運営	区内の遊休地や公共空間を活用した、マイガーデン(区民農園)の運営を推進	公園	-	継続 -	継続 -	継続 -	■マイガーデン(南大井32区画・西五反田16区画)の運営:2箇所	■マイガーデン(南大井32区画・西五反田16区画)の運営:2箇所	A	-	■マイガーデンの運営:2箇所 ■第二庁舎屋上に拡充(子ども青空農園)	A	-	■マイガーデンの運営:2箇所 ■子ども青空農園の運営 ■区民農園の整備	・2か所48区画のマイガーデンの応募倍率が高く、区民ニーズに十分こたえられていない	・令和8年度、新規にマイガーデンを開設予定 ・適地の出現機会を捉えて、マイガーデンの拡充を要望していく	-			
29	98	街角花壇の維持管理の推進	駅前などの街角に設置した花壇の維持管理を推進	公園 道路	・地域美化 まちなかにきれいな花壇があることで、街並みをきれいに保つという機運が醸成される	継続 -	継続 -	継続 -	■街角花壇の維持管理:15箇所・97.1㎡ ■道路花壇の維持管理:11箇所・183.6㎡	■街角花壇の維持管理:15箇所・97.1㎡ ■道路花壇の維持管理:11箇所・183.6㎡	A	-	■街角花壇の維持管理:15箇所・97.1㎡ ■道路花壇の維持管理:10箇所・177.9㎡	A	-	■街角花壇の維持管理:15箇所・97.1㎡ ■道路花壇の維持管理:10箇所・177.9㎡	・地域美化として効果が薄い既設花壇の設置場所等の見直しが必要である。	・区民の自主的な活動を支援することにより、地域美化を図っていく。	-			

③グリーンインフラの推進 (2)水とみどりに親しめる環境整備 2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)								今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
						基準 R3年度	中間 R8年度	目標 R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	現時点の達成状況(評価)	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
30	99	グリーンインフラに関する計画策定	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、グリーンインフラに関する計画を検討	公園	・まちづくり事業との連携 環境・防災減災	事前調査 -	運用 -	運用 -	- (未着手)	■グリーンインフラ関連事業推進の明確化	A	-	■グリーンインフラ関連事業の推進	A	-	■グリーンインフラ関連事業の推進	・グリーンインフラ関連事業を継続的に進める必要がある	・区内の公共施設の整備に合わせて取り組んでいくとともに助成制度や開発行為等の民間の取り組みにおける普及啓発にも努めていく	-			

④水辺空間の整備・活用

(2)水とみどりに親しめる環境整備

2 基本方針2:身近な水とみどりを柔軟に活用し、多様で豊かな暮らしを実現する

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		
						基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
31	100	水際空間の開放	沿岸部での事業実施時に、水際線側に公開空地を確保し一般開放するよう誘導するとともに、一般開放を促進するよう調整を図る	河・下都市	-	継続	継続	継続	■沿岸部での事業に対する協議・調整	■沿岸部での事業に対する協議・調整	A	-	■沿岸部での事業に対する協議・調整	A	-	■沿岸部だけではなく、水辺沿いの開発事業において水際の公開空地の整備に努めるよう働きかけるとともに、その有効活用を図る	-	-	-	・水辺利用推進計画に基づき取り組む	
32	100	釣りのできる空間整備	京浜運河沿い等において、釣り場の整備を検討	河・下公園	・水際での交流空間の形成 水辺を活かしたまちづくり	事前調査	計画検討	計画検討	-	-	C	-	-	C	-	■釣りのできる場所のPR方法の検討	・京浜運河にはすでに釣りができる場所があり、新たな釣り場整備の要望はない	・新たな釣り場整備の要望がある場合には、必要に応じて対策を検討する	-	-	
33	100	水辺の活動がしやすい環境づくり	水辺の活動のルール作りや、水辺の休憩施設の設置による活動拠点の整備	河・下	・船着場の活用(No.34) ・運河ルネサンスとの連携(No.54) 水辺空間の整備・活用 水辺やみどりを活かした観光の推進	継続	継続	継続	■非動力船の航行ルールについて、東京都港湾局をはじめ、運河ルネサンス協議会等を含め検討	■非動力船の航行ルールについて、東京都港湾局をはじめ、運河ルネサンス協議会等を含め検討	S	-	■非動力船の航行ルール策定に向け、地元利用団体を中心となり、非動力船と動力船による安全航行実証実験を実施	S	-	■非動力船の航行ルールを、地元利用団体を中心となり、運河ルネサンス協議会と調整のうえ策定	・非動力船の航行には特別な資格や免許も必要なく、基本的な航行ルールを知らない利用者がいることから、安全性に課題がある	・関係機関と協議を重ね、非動力船の航行ルールを定めていくことからの、安全性に課題がある	-	・東京都港湾局が改定した非動力船のルールを踏まえて品川区内で非動力船の航行ルールを運河ルネサンス協議会と調整のうえ策定予定	
34	100	船着場の活用	区有船着場を、観光や日常利用の観点からも有効に活用	河・下文化	・見どころをつなぐ船の運航 ・水辺の活動がしやすい環境づくり(No.34) 水辺やみどりを活かした観光の推進	継続150回/年	継続300回/年	継続450回/年	■船着き場の利用回数:1136回	■船着き場の利用回数:933回	S	345%(1035/300)/年	■船着場の利用回数:1173回	A	391%(1173/300)/年	■民間舟運事業者による定期運航が開始されることから、必要となる船着場の改修を実施	・現在の船着場の利用は、桜の時期などのイベント時のみであることから、通年で利用してもらう仕組みの検討が必要	・定期運航など舟運事業を活性化する取り組みを検討する ・利用しやすい船着場を目指し、船着場利用者の意見を参考に運用方法等を検討する	-	-	
35	100	京浜運河沿いの景観性向上	民間事業者等と連携し、京浜運河沿いの緑化等、景観性向上を検討	河・下公園	-	協議・調整	計画検討	-	■水辺空間の魅力向上に向けた現状・課題整理および今後の方針を検討	■水辺空間の魅力向上に向けた現状・課題整理および今後の方針を検討	B	-	■水辺空間の魅力向上に向けた現状・課題整理および今後の方針を検討	B	-	■京浜運河沿いの景観性向上のため、国や東京都が管理する橋梁や、民間施設等のライトアップ実施・連携を促進する	・水辺空間の景観性向上に向けた整備について、関係機関との調整が必要	・関係機関との調整を実施する	・京浜運河沿いの景観性向上については、首都高速1号羽田線の工事状況を見ながら、実施を検討予定 ・水辺利用推進計画に基づき取り組む		
36	100	公園の池や湧水地を活用した空間整備	自然環境の場として、公園内の池や湧水地を活用した空間整備を推進	公園河・下	・緑化の推進 池をはじめとした公園への愛着の醸成により緑をはくむ意識の向上を見込む。	継続	継続	継続	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	A	-	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	A	-	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	・池への外来種等飼育魚類の放流	・公園管理者への巡回や啓発看板の設置を行う	-	-	

①健全な水循環の確保

(1)水環境の改善

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		
						基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
37	102	雨水流出抑制対策の推進(再掲)	区有施設における雨水浸透ます等の流出抑制施設の設置の推進及び、一般住宅等への設置に対する助成の推進	河・下	-	継続4件/年	継続4件/年	継続4件/年	■助成件数:0件	■助成件数:1件	B	13%(0.5/4)/年	■助成件数:0件	B	-	■助成件数:1件	・一般住宅に雨水流出抑制施設を設置するスペースが無いことや、雨水流出抑制施設を設置した区民にメリットが感じられないことから、助成件数が少ない	・建築家協会などの住宅建設関係団体に助成制度の周知を行う ・広報紙、各種SNSやデジタルサイネージ等による助成制度の周知を強化	-	-	
38	102	雨水利用タンクの普及(再掲)	雨水利用タンク設置助成を推進	河・下	-	継続14件/年	継続14件/年	継続14件/年	■助成件数:3件	■助成件数:2件	B	18%(2.5/14)/年	■助成件数:6件	B	43%(6/14)/年	■助成件数:10件	・助成件数が少ない	・広報紙、各種SNSやデジタルサイネージ等による助成制度の周知を強化 ・各種イベント時に助成制度を周知する	・「エコルとごし」での企画展示等での周知を継続する	-	-

②河川・運河の水質改善

(1)水環境の改善

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容					事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定			今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	達成目標			R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		
						基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考		
39	103	目黒川、立会川、勝島運河の水質改善	目黒川や立会川および勝島運河において、都と連携した水質改善を実施	河・下	-	継続	継続	継続	■高度処理水の放流 ■水質浄化機器の運転	■高度処理水の放流 ■水質浄化機器の運転	S	-	■高度処理水の放流 ■水質浄化機器の運転	A	-	■高度処理水やJR導水の放流 ■立会川での水質浄化機器の運転 ■目黒区による目黒川での水質浄化機器の運転	・潮の影響や、大雨時の下水からの汚水流入により水質が悪化しており、継続的な対策が必要とする	・池尻・新駒沢幹線の本格稼働や立会川幹線雨水放流管を整備・稼働することで、下水からの汚水流入を減らすことができることから、東京都に早期稼働を要望する	-	-	
40	103	水質調査・浚渫の実施	目黒川及び立会川における水質調査や河床に堆積した汚泥等の浚渫の実施	河・下	-	継続年1回	継続年1回	継続年1回	■目黒川・立会川で水質調査および汚泥等の浚渫	■水質調査・浚渫	A	100%(1/1)/年	■水質調査 ■都による目黒川の汚泥浚渫	A	100%(1/1)/年	■水質調査の実施 ■目黒川での障害物撤去 ■効率的な浚渫についての検討	・東京都による河床部の浚渫工事を概ね5年に1度実施しているが、その頻度や方法など効率的な浚渫方法を検討する必要がある	・目黒区主催による目黒川浄化対策検討委員会において、効率的な浚渫について検討する	-	-	
41	103	開発の機会を捉えた合流改善対策	再開発事業等において、汚水管と雨水管を分ける部分流化を推進	河・下都市	-	再開発事業者との連携	再開発事業者との連携	再開発事業者との連携	■再開発事業等における事業者との連携	■再開発事業等における事業者との連携	A	-	■再開発事業等における事業者との連携	A	-	■再開発事業等における事業者との連携	-	-	-	-	

①地域の歴史を伝えるみどりの保全

(2)歴史・文化を伝える資源の保全・活用

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
42	104	保存樹木・保存樹林の指定などまとまりのある樹林地の保全(再掲)	保存樹木の指定を推進、所有者の維持管理への負担軽減のため基本剪定などの維持管理の一部を実施し、まとまりのある樹林地の保全を推進	公園	・地域の緑化推進 みどりの保全	継続	継続	継続	■保存樹木および保存樹林の維持管理	■保存樹木および保存樹林の維持管理	A	-	■保存樹木および保存樹林の維持管理	A	-	■保存樹木および保存樹林の維持管理	・指定の解除は所有者の意向で自由なため、建築計画等の理由で指定解除となる保存樹が発生している	・樹木や樹林の所有者に新規に指定する際や助成を申請する際、継続的な指定を依頼する	-	-		
43	104	住宅地等のみどりの保全	緑化指導による既存樹木の保全を行うとともに、植栽時には生物多様性に配慮した在来種を選定するように指導	公園	-	継続90%	継続95%	継続100%	■緑化基準値以上の計画を実施した件数の割合:84%	■緑化基準値以上の計画を実施した件数の割合:90%	B	95%(90/95)	■緑化基準値以上の計画を実施した件数の割合:94%	B	99%(94/95)	■目標値に向けた緑化指導の実施	・民有地緑化制度の活用	・他自治体の事例収集を行いながら内部検討を進めていく	-	-		
44	104	都市開発跡地を活用した崖線の緑の保全・再生	民間開発事業者に対して、崖線の保全・再生を推進するよう調整を図る	公園都市	・生物多様性に配慮した空間の創出 まとまった緑などが創出されるので、生物多様性に配慮した空間を創出できる機会となる	継続	継続	継続	■緑化指導における緑の保全・再生	■緑化指導における緑の保全・再生	B	-	■緑化指導における緑の保全・再生	B	-	■緑化指導における緑の保全・再生	・開発事業者に対して、生物多様性に配慮した空間整備の考え方の周知が必要	・生物多様性地域戦略を用いた開発事業者に対する緑化指導を実施する	-	-		

②水とみどりの文化の継承

(2)歴史・文化を伝える資源の保全・活用

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
45	105	農の文化の伝承	江戸野菜の復活に向けて、マイガーデンなどでの栽培、学校給食での活用などを通して、品川の農の文化を広く周知	公園	-	継続	継続	継続	■区民農園利用者に対して、指導員等による説明会を開催	■区民農園利用者に対して、指導員等による説明会を開催	A	-	■区民農園利用者への説明会のほか、家庭菜園講座(座学・体験)を開催	A	-	■区民農園利用者への説明会のほか、家庭菜園講座(座学・体験)を開催 ■区民農園の整備	・2か所48区画のマイガーデンの応募倍率が高く、区民ニーズに十分こたえられていない	・令和8年度、新規にマイガーデンを開設予定 ・適地の出現機会を捉えて、マイガーデンの拡充を要望していく	-	-		
46	105	歴史や文化を伝える水辺や花の名所づくり	歴史や文化を象徴する桜などの植栽を誘導・促進	公園	・地域の緑化推進 銘木を保全する取り組みから身近なみどりに対する保全意欲を醸成する	継続	継続	継続	■「愛される樹木を伝える事業」 「権現桜」の接ぎ木を実施	■「愛される樹木を伝える事業」 「児櫻」の接ぎ木を実施 「権現桜」の苗木を配布	A	-	■「愛される樹木を伝える事業」 「学校の桜」の接ぎ木を実施 「児櫻」の苗木を配布	A	-	■「愛される樹木を伝える事業」 「松」の接ぎ木を実施 「学校の桜」の苗木を配布	-	-	-	-		
47	105	内陸部の池・湧水の保全・再生	湧水の保全及び、公園改修に併せた湧水の活用を検討・整備	河・下公園	-	継続	継続	継続	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	A	-	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	A	-	■戸越公園や文庫の森といった池を有する公園の適切な維持管理	-	・既存、公園内に池がある場合、最大限活用できるような整備	-	-		

③史跡等の利用推進

(2)歴史・文化を伝える資源の保全・活用

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
48	106	史跡等の利用促進	歴史的価値のある資源を保全するための景観・環境整備の推進及び、サイン等による歴史情報の提供を進めて利用を促進	公園文化教育	-	継続	継続	継続	■大森貝塚遺跡庭園、文庫の森公園旧三井文庫第二書庫の保全およびサインによる情報発信	■大森貝塚遺跡庭園、文庫の森公園旧三井文庫第二書庫の保全およびサインによる情報発信	A	-	■歴史的資源の保全・環境整備の促進	A	-	■歴史的資源の保全・環境整備の促進	・歴史的資源への迷惑行為の監視対策強化が必要	・防犯カメラ等による監視強化を実施する	-	-		

④旧東海道品川宿の街並み形成

(2)歴史・文化を伝える資源の保全・活用

3 基本方針3:品川らしい水とみどりを継承しまちづくりを活かす

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
49	107	街道松のある街並みの形成	街道松を沿道に植栽することにより、沿道の景観の魅力を高める	公園都市	・緑化の推進 歴史的な植栽の推進からみどりの意識醸成を期待する。	継続	継続	継続	■品川宿の歴史を感じる街並み形成に向けた品川区景観計画における建築計画等の事前相談:22件	■品川宿の歴史を感じる街並み形成に向けた品川区景観計画における建築計画等の事前相談:32件	A	-	■品川宿の歴史を感じる街並み形成に向けた品川区景観計画における建築計画等の事前相談:35件	A	-	■品川宿の歴史を感じる街並み形成に向けた品川区景観計画における建築計画等の事前相談:30件	・魅力ある景観のまちづくりに向けた積極的な支援の継続が必要	・支援を継続するとともに、魅力ある景観形成に向けたPRを行う	-	-		

①公園の再整備

(1)特色ある公園・水辺広場づくり

4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
50	109	しながわ区民公園の再整備	しながわ区民公園(北側)について、生物の生息空間に配慮した整備及び、災害時の防災拠点機能の充実に向けた整備の実施	公園	・まちづくり事業との連携(No.1) みどりの保全、創出	整備	-	-	■整備工事(第一期工事、第二期工事)	■整備工事(北側ゾーン第二期工事) 再整備の完了	A	-	-	A	-	-	-	・整備後の実態把握が必要	・生物生息空間や防災拠点の機能のモニタリングを行う ・新植した樹木の生長とともに、生物生息空間の充実を図る	-	-	
51	109	林試の森公園の新規事業化(東京都)	新たに拡張する区域について、防災機能の強化・充実、自然と親しむみどりの拠点づくり及び周辺のまちづくりやコミュニティ形成に寄与する公園の整備を実施	東京都	-	整備(予定)	整備(予定)	-	■事業認可申請	■事業認可取得	A	-	■用地取得	A	-	■解体工事 ■園地整備基本設計	-	-	-	-		
52	109	品川区立環境学習交流施設エコルとごしと連携した戸越公園の再整備	品川区立環境学習交流施設エコルとごしと連携した、戸越公園の再整備を実施	公園環境	・まちづくり事業との連携(No.1) みどりの保全、創出	整備	整備済	-	■基本設計	■整備時期の検討	C	-	■整備時期の検討	C	-	■整備時期の検討	・公園利用者、周辺住民の同意を得られるか	・対外説明を行う	-	-		

②水辺広場の活用 (1)特色ある公園・水辺広場づくり 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりのにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)				
53	110	五反田ふれあい水辺広場の活用	目黒川の活動拠点として活用可能な機能確保に向けた調整及び、河川敷地占用許可準則の緩和等を活用した、地域住民等によるにぎわいづくりの活動の推進	河・下	-	継続	継続	継続	■水辺のオープンスペースを活用した地域主体のイベントに対し、支援	■水辺のオープンスペースを活用した地域主体のイベントに対し、支援	S	-	■水辺のオープンスペースを活用した地域主体のイベントに対する支援	S	-	■水辺のオープンスペースを活用した地域主体のイベントに加え、日常的に実施する魅力発信イベント等に対する支援	・五反田ふれあい水辺広場で実施しているイベントは、周辺の住民や働く人々を対象としているが、水辺の活性化を進めるためには、もっと広い地域を対象とする必要がある	・水辺の活性化に向けた、五反田ふれあい水辺広場周辺以外の目黒川沿川も対象とする、新たなイベントに対して支援する	-	-		

①水辺やみどりを活かした観光の推進 (2)水とみどりを活かしたにぎわいづくり 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりのにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)				
54	111	運河ルネサンスとの連携	「運河ルネサンス推進地区」に指定されている「品川浦・天王洲地区」および「勝島・浜川・鮎洲地区」の両協議会と連携しながら、それぞれの活動を支援	河・下文化観光	・水辺の活動がしやすい環境づくり(No.33)	継続	継続	継続	■協議会と連携し、水辺のにぎわい創出に向けた取り組みに関し、情報共有や意見交換を実施	■運河ルネサンス推進地区内の防潮堤規制緩和に向けた関係部署との協議・調整	A	-	■運河ルネサンス推進計画に基づく活動への支援の検討	S	-	■品川浦・天王洲地区運河ルネサンス推進計画に基づく、非動力船定着化の活動への助成 ■勝島・浜川・鮎洲地区運河ルネサンス推進計画に基づく、水辺のにぎわい創出の活動への助成	-	-	-	-		
55	111	みどころをつなぐ船の運航	河川や運河を利用した、区内のみどころをつなぐ船舶の運航	河・下文化	-	継続	継続	継続	■クルーズ事業の実施	■しながわクルーズ事業の実施	A	-	■しながわクルーズ事業の実施(6月から毎月運航)	A	-	■定番コースに加え、イベントや他区エリアと連携した特別コースの運航(5月から毎月運航)	・クルーズの見どころがなければ、民間での継続的な実施は難しい	・クルーズの見どころの掘り起こしや創出を図り、ニーズを把握する	・左記を目的としたクルーズを舟運事業者および近隣自治体等と連携し、試行予定	-		

②水辺を活かしたまちづくり (2)水とみどりを活かしたにぎわいづくり 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりのにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)				
56	112	水際の交流空間の形成	品川浦・天王洲や勝島運河の水際において、憩い、散策、観賞などの機能を持った空間形成及び、地域交流の場としての活用を推進	河・下	・品川区都市型観光プラン	継続	継続	継続	■天王洲水辺広場整備工事	■天王洲アイル第五水辺広場(天王洲水辺広場)の開放	A	-	-	B	-	■新たな水辺空間の解放や護岸上部利活用に向け港湾局等関係者との意見交換	・解放できる水辺空間の整備は完了したが、天王洲アイルの水辺沿いを一周するにはなっていない	・解放できる水辺空間があれば、港湾局と協議のうえ、積極的に整備・解放していく	-			
57	112	地域ぐるみでの水辺の名所づくり	「しながわ海道」の取組みの推進及び、新たな水辺の名所づくりに向けた地域ぐるみの水辺の活動を支援	公園	・河川や運河の緑化推進・観光関連事業 ・季節感のある緑化の推進に貢献している各種イベントにより区の観光施策の側面もある	継続	継続	継続	■しながわ海道他管理業務をNPO法人へ委託し、地域ぐるみでのイベントや管理を実施	■しながわ海道他管理業務をNPO法人へ委託し、地域ぐるみでのイベントや管理を実施	A	-	■しながわ海道他管理業務をNPO法人へ委託し、地域ぐるみでのイベントや管理を実施	A	-	■しながわ海道他管理業務をNPO法人へ委託し、地域ぐるみでのイベントや管理を実施	・NPO法人による継続的なイベント、管理の実施が必要	・NPO法人との対話を密にし、自主的な活動の後押しをすともに必要な支援を実施する	-			
58	112	地域と連携した船着場・護岸の修景	ライトアップ等の演出を充実・波及させ、夜間の魅力ある地点の創出及び景観の向上を図る	河・下	-	継続	継続	継続	■橋梁ライトアップの実施:13橋	■季節カラーをはじめ、アウェアネスリボン運動に合わせたライトアップ	S	-	■季節カラーをはじめ、アウェアネスリボン運動に合わせたライトアップ	A	-	■季節カラーをはじめ、アウェアネスリボン運動に合わせたライトアップ ■効果的なライトアップの検討 ■護岸ライトアップの検討	・季節カラーやアウェアネスカラーなどのライトアップを実施しているが、あまり注目されていない	・退勤時間にあわせて点灯するようにライトアップ開始時刻の見直しや、庁内でのデジタルサイネージやポスターによるPRを行う ・照明デザイナー等の専門家によるライトアップ演出を検討する	-			
59	112	水辺に顔を向けた建物の指導	水辺に顔を向けた建築物の立地誘導を図り、水辺を意識したまちづくりを促進	都市	・水着際空間の解放 ・船着場の活用(No.34) 水辺の活用	継続	継続	継続	■水辺景観形成特別地区において、一定の規模以上の建築物等には、景観形成基準に基づく指導を行う	■水辺景観形成特別地区において、一定の規模以上の建築物等には、景観形成基準に基づく指導を行う	A	-	■水辺景観形成特別地区において、一定の規模以上の建築物等には、景観形成基準に基づく指導を行う	A	-	■水辺景観形成特別地区において、一定の規模以上の建築物等には、景観形成基準に基づく指導を行う	・引き続き、水辺景観形成特別地区において、一定の規模以上の建築物等には、景観形成基準に基づく指導を行う	-				

③水やみどりのイベントの開催

(2)水とみどりを活かしたにぎわいづくり

4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容					達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
60	113	水辺のイベントの開催促進	まちづくり組織が実施する水辺イベントを支援し、水辺でのイベントの開催促進を図る	河・下文化	-	継続	継続	継続	-	■NPO法人しながわ花海道による「ゆり鑑賞ラプティーク」を開催	A	-	■NPO法人しながわ花海道による「ゆり鑑賞ラプティーク」を開催	A	-	■NPO法人しながわ花海道との連携による「ゆり鑑賞ラプティーク」を開催	-	・持続可能な観光資源として磨き上げるため、新たな付加価値の創出が必要	・鑑賞後のゆりの茎を再生紙にアップサイクルする取り組みをとおして、環境、福祉等の様々な分野への波及効果を図る	「鑑賞ラプティーク」に対し、R6年度は観光協会への補助金を通してイベント支援を実施。R7年度は文化観光戦略課「しながわ花海道ゆりの花サステナブル事業(新規)」として、共催。		
61	113	公園におけるイベントの充実	公園やみどりをテーマにした、区民による多様なイベントを支援することで、公園におけるイベントの充実を図る	公園	・緑化の推進 公園の利用が活性化されることで、公園やみどりに対する理解が促進されることを期待する	継続	継続	継続	■一括管理公園における、管理者による提案事業として各イベントの実施、地域によるイベントの実施	A	-	■令和4年度と同等規模でのイベントを実施	A	-	■令和5年度と同等規模でのイベントを実施	-	・さらなるイベントの充実による、区民満足度の向上が必要	・地域と連携したイベントを開催する	-			

④新たなにぎわい創出

(2)水とみどりを活かしたにぎわいづくり

4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容					達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
62	113	水辺観光マップの作成	水辺に特化した観光マップを作成(新しい情報が入り次第、内容を随時更新)	文化	・水辺活用等広域連携事業 地域活性化	随時更新	随時更新	随時更新	■観光マップ:5000部増刷	■新たに開設した船着場や水辺周辺の飲食店や見どころの情報を更新	A	-	■R5年度に改定した水辺観光マップを1万部増刷し、観光案内所等での配架を継続	A	-	■配布部数に応じて増刷する	・掲載情報を適宜、更新していく必要がある	・数年に一度、掲載内容の見直しを行う	-			
63	113	運河ルネサンスとの連携(再掲)	「運河ルネサンス推進地区」に指定されている「品川浦・天王洲地区」および「勝島・浜川・鮫洲地区」の両協議会と連携しながら、それぞれの活動を支援	河・下文化	・水辺の活動がしやすい環境づくり(No.33)	継続	継続	継続	■協議会と連携し、水辺のにぎわい創出に向けた取組に関し、情報共有や意見交換を実施	■運河ルネサンス推進地区内の防波堤規制緩和に向けた関係部署との協議・調整	A	-	■運河ルネサンス推進計画に基づく活動への新たな支援の検討	S	-	■品川浦・天王洲地区運河ルネサンス推進計画に基づく、非動力船定着化の活動への助成 ■勝島・浜川・鮫洲地区運河ルネサンス推進計画に基づく、水辺のにぎわい創出の活動への助成	-	-	-			

⑤舟運活性化

(2)水とみどりを活かしたにぎわいづくり

4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容					達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等				
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
64	114	交通手段としての船の活用	船着場を活用した船による社会実験を行い、交通手段としての有効性を検証。交通手段としての船の活用と併せて、その他移動手段であるシェアサイクル等の活用もふまえた検討を実施	河・下	-	協議・調整	計画検討	計画検討	■東京都と連携し、船による交通手段として可能性を検証(らくらく舟通勤の実施)	■東京都が舟運活性化に向けて創設した補助制度について、再募集の方針が示されたことから、目黒川での舟運事業の実現に向けて、地域への情報共有や意見交換を実施	B	-	■東京都が舟運活性化に向けて創設した補助制度について、再募集の方針が示されたことから、目黒川での舟運事業の実現に向けて、地域への情報提供や意見交換の実施	S	-	■民間舟運事業者による定期運航が開始されたことから、必要となる船着場の改修を実施	・現在は桜の時期などのイベント時のみ舟運を実施していることから、通年の舟運事業が収益事業として成立するかが課題	・地域団体と連携した積極的な広報活動を行う	-			
65	114	船着場までのわかりやすい案内誘導の実施	船着場までの案内誘導の充実を図り、船着場の案内サインを整備	河・下	-	整備	整備済	整備済	■案内サイン設置(東品川海上公園船着場)	■舟運事業を見据えた案内サインの検討	A	-	■案内サイン設置(五反田船着場、東品川二丁目船着場)	S	-	■案内サインの充実(五反田船着場、東品川二丁目船着場)	・案内サインの設置は一通り完了したが、五反田地区や区の船着場以外にも多くの船着場がある天王洲地区については、案内サインを充実させる必要がある	・天王洲地区や五反田船着場については、鉄道会社等が管理する周辺マップへのシールによる表示等で充実を図る	・天王洲地区においては、東品川二丁目船着場の後背地整備に合わせて、さらなる案内サインの充実を図る			
66	114	舟運における東京都や他区との連携	舟運事業においては、都や他区と連携し、舟運活性化を図る。区有の船着場等の活用と併せて、東京都の船の新たな拠点である「国際クルーズターミナル」の活用を検討	河・下	-	継続	継続	継続	■東京都と連携し、船による交通手段として可能性を検証(らくらく舟通勤の実施)	■東京都が舟運活性化に向けて創設した補助制度について、再募集の方針が示されたことから、目黒川での舟運事業の実現に向けて、地域への情報共有や意見交換を実施	S	-	■東京都が舟運活性化に向けて創設した補助制度について、再募集の方針が示されたことから、目黒川での舟運事業の実現に向けて、地域への情報提供や意見交換の実施	S	-	■東京都主催により江東区、中央区、港区と舟運についての情報共有や意見交換を実施	・都と連携した舟運は実現したが、他区との連携についても検討していく必要がある	・他区の舟運事業等の実施状況を把握する	-			
67	114	みどころをつなぐ船の運航(再掲)	河川や運河を利用して、区内のみどころをつなぐ船舶の運航を検討	河・下文化	-	継続	継続	継続	■クルーズ事業	■しながわクルーズ事業	A	-	■しながわクルーズ事業の実施(6月から毎月運航)	A	-	■定番コースに加え、他区エリアと連携した特別コースの運航	・クルーズの見どころがなければ、民間での継続的な実施は難しい	・クルーズの見どころの掘り起こしや創出を図り、ニーズを把握する	・左記を目的としたクルーズを舟運事業者および近隣自治体等と連携し、試行予定			
68	114	施設のバリアフリー化	舟運活性化を目的に船着場等のバリアフリー化を推進	河・下	-	継続	継続	継続	■しながわ水族館船着場補修工事	■しながわ水族館船着場詳細点検	A	-	■しながわ水族館船着場改修検討 ■東品川二丁目船着場連絡橋改良設計	S	-	■東品川二丁目船着場を舟運事業に使用できるよう、関東運輸局の許可に必要な改修を実施	・バリアフリー化が可能な船着場については整備が完了しているが、バリアフリー化が困難な船着場は周辺施設の改修に合わせる必要がある ・船着場を舟運事業で使用する場合には関東運輸局の許可に必要な整備基準と、その他の利用目的による整備基準の複数があり、バリアフリーの基準もそれぞれ違っていることから、区の考え方を整理する必要がある	・周辺施設の改修予定があるため、今後の活用状況を把握する ・各種整備基準を調査のうえ、区有船着場におけるバリアフリーの考え方を整理する	・しながわ水族館のリニューアルに合わせた、しながわ水族館船着場のバリアフリー化を実施予定			

①新たなみどりの創出 (3)多様なオープンスペースの確保 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
69	115	Park-PFIの推進	都市公園の魅力を引き出すため、Park-PFI制度の導入を検討・推進	公園	・観光関連事業 魅力ある施設が公園内に設置されることで公園にとどまらず区の魅力向上につながる	計画 検討	整備	運用	■利用者アンケートと事業者へのマーケットサウンディング調査	■公募対象公園を決定し、事業者公募のための指針案を作成	B	-	■公募設置等予定者選定委員会および選定会議を実施	B	-	■インフラ等整備工事	・地域の理解を得ながらの事業推進が必要 ・区と事業者、地域イベントとの工事間調整が必要	・事業の推進にあたり地域への説明と地域からの意見を取り入れながら事業を実施する	-			
70	115	しながわ水族館の活用	区民だけでなく観光客にも親しめる水とみどりの一大拠点となるように活用を検討	公園	・観光関連事業 ・教育と連携した体験プログラムの実施(No.88) 水辺の観光施設として現水族館でも40万以上の来館者を見込むとともにリニューアルによりさらに多くの方を品川区へ呼び込む	継続	継続	継続	■しながわ水族館運営(リニューアルに向けた調査検討)	■しながわ水族館運営(リニューアルに向け、プロポーザルにより運営準備事業者選定し、基本設計等を実施)	A	-	■しながわ水族館運営(リニューアルに向けた基本設計の実施するとともに既存水族館においても魅力的な展示や企画を開催)	A	-	■しながわ水族館運営(更なる魅力向上に向けたリニューアルの運営手法等の検討・既存水族館における展示や企画の継続)	・施設の老朽化等の状況を踏まえつつ、リニューアルオープンするまで、現施設の利用促進を図る必要がある	・魅力的なイベントの実施や効果的なPRを実施し、集客に力を入れる	-			
71	115	新たな生活様式への対応	新たな生活様式が定着することで生まれる地域のニーズに柔軟に対応するため、公園などのオープンスペースにWi-Fiやベンチ等を整備	公園	・観光関連事業 区民のみならず、来街者に対しても有益な取り組みとなる	検討・ 整備	検討・ 整備	検討・ 整備	■コロナ禍の落ち着きを踏まえ、撤去していたテーブルやベンチを公園内に再設置	■区民要望のある公園について、ベンチ設置を実施	A	-	■区民ニーズの状況を踏まえた施設設置の実施 ■Wi-Fiについて、区民からの声を踏まえた担当部署との協議を実施予定	A	-	■区民ニーズの状況を踏まえた施設設置の実施 ■Wi-Fiについて、区民からの声を踏まえた担当部署との協議を実施予定	-	・Wi-Fiについては、設備更新の際、エリアの見直しを検討する ・既存ベンチ等を取り替える際、園内の配置を検討する	-			

②魅力ある公園づくり (3)多様なオープンスペースの確保 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
72	116	公園・児童遊園の改修	公園施設長寿命化計画に基づき施設の改修やリニューアルを推進(バリアフリーやユニバーサルデザイン、生物多様性への配慮など、地域住民のニーズや時代の要請に即した機能の見直しを行う)	公園	・まちづくり事業との連携 みどりの保全・創出	継続 7箇所/年	継続 9箇所/年	継続 9箇所/年	■公園・児童遊園の改修:6箇所	■公園・児童遊園の改修:6箇所(しながわ区民公園北側ゾーン(二期)、西五反田公園、荏原中央公園、南五公園、宮前坂広場、立会川児童遊園(その2))	B	67% (6/9)/年	■公園・児童遊園の改修:5箇所(西五反田公園、立会川児童遊園(その3)、旗の台北公園、東海公園、浜川北公園)	B	55% (5/9)/年	■子どもの森公園改修工事 ■東品川海上公園拡張整備工事 ■(仮称)豊町三丁目公園整備工事 ■五反田児童遊園改修工事	・優先順位の整理が必要	・公園整備計画策定を検討する	・各年度3箇所程度を改修予定			
73	116	子どもたちのアイデアを活かした公園づくり	子どもたちを含めた住民のアイデアや公園へのニーズを計画に反映させることで、魅力ある公園づくりを推進	公園	・公園・児童遊園の改修(No.72) みどりの保全・創出	継続 5箇所(整備済)	継続 5箇所	継続 6箇所	■公園の整備箇所数:2箇所(計7箇所)	■公園の整備箇所数:1箇所(計8箇所)	B	80% (8/10)	■公園の整備箇所数:1箇所(計9箇所)	B	90% (9/10)	■子どもの森公園改修工事	-	-	・各年度1箇所以上整備を実施予定			

③様々な手法によるオープンスペースの確保 (3)多様なオープンスペースの確保 4 基本方針4:様々な人の活躍の場となる魅力的な水とみどりにぎわい拠点をつくる

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
74	117	新たな手法によるオープンスペースの確保	新たな手法(借地公園や民設公園、市民緑地認定制度等)を活用した公園やオープンスペースの確保を推進	公園	・地域の緑化推進 みどりの保全・創出	継続	継続	継続	■市街地再開発事業等のまちづくりの中の民有緑地の創出を実施	■市街地再開発事業等のまちづくりの中の民有緑地の創出を実施	B	-	■市街地再開発事業等のまちづくりの中の民有緑地の創出を実施	B	-	-	・新たな手法による緑地確保が必要	・緑地確保の手法の検討・整理	-			
75	117	まちづくり事業との連携(再編)	防災上役立つ公園など緑地のあるオープンスペースの確保(サードプレイスとして活用できるように配慮)	公園都市密防災	・市街地再開発事業 ・風の道等の確保(No.16) ・開発事業者による広域的な緑の保全・創出(No.24) まちづくりの進展により地域課題が解消されるとともにみどりの創出が促進される	継続	継続	継続	■旗六公園の新設整備	■天王洲アイル第五水辺広場の整備 ■夕陽公園の整備(市街地再開発事業)	A	-	出石こいこい広場の新設整備	A	-	-	・事業進捗による整備数のバラつきが生じている	・事業進捗を踏まえた公園整備時期の調整を行う	-			

④普及啓発活動の推進 (1)水とみどりの意識啓発 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等					
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度 実施内容等	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)						
76	120	園芸講座の実施	緑化の普及啓発に向け、園芸講座を開催	公園	・緑化の推進 園芸を通じてみどりへの機運醸成から区内の緑化が推進されることを期待	継続 3回/年	継続 3回/年	継続 3回/年	■水とみどりの普及啓発による講座:8回	■水とみどりの普及啓発による講座:8回	A	267% (8/3)/年	■水とみどりの普及啓発による講座:8回	A	-	■水とみどりの普及啓発による講座:8回	・緑化普及啓発活動にむけて区民満足の向上が必要	-	-			
77	120	水関連施設の見学会の実施	水に関する取り組み(水害対策や水質改善等)について、区民の興味や理解を深めるために、見学ツアーを東京都と連携して開催	河・下	-	継続	継続	継続	■第二戸越幹線現場(上流部シールド内)の現場見学会(三木小3年生6名)	■東京都下水道局と合同の立会川幹線雨水放流管工事見学会(付近の小学3年生を対象) ■エコルとごしと連携した河川環境学習(小学4年生~6年生を対象)	S	-	■東京都下水道局と合同の立会川幹線雨水放流管工事見学会(付近の小学3年生を対象) ■エコルとごしと連携した河川環境学習(小学4年生~6年生を対象)	S	-	■東京都下水道局と合同の立会川幹線雨水放流管工事見学会(付近の小学3年生を対象) ■エコルとごしと連携した河川環境学習(小学4年生~6年生を対象)	・小学生を対象とした工事現場見学会や環境学習を実施したが、見学可能な浸水対策の啓発となる新たな見学場所を探す必要がある	・工事現場以外の浸水対策の普及啓発できる施設の見学会を検討する	・河川環境学習は回数を増やして実施予定			
78	120	ホームページやSNS等による水とみどりの情報発信	区民が身近な水とみどりに関する情報を充実させるため、水とみどりに関する情報を区のホームページや広報紙などで発信	公園文化環境河・下教育	-	継続 1回/週	継続 1回/週	継続 1回/週	■広報紙や各種SNSで情報発信を実施(橋梁ライトアップ内容や雨水タンクの助成制度について) ■水に関する区HPをリニューアル	■広報紙や各種SNSで情報発信を実施	A	-	■広報誌や各種SNSで情報発信を実施(橋梁ライトアップ内容や雨水タンクの助成制度について)	A	-	■広報誌や各種SNSで情報発信を実施 ■河川浄化についてHPに掲載	-	-	-			
79	120	公園における樹名板の設置	公共施設の樹木への樹名板や樹木解説板の設置を進めるなど、公園や樹木に愛着を持ってもらう取り組みを推進	公園	-	継続	継続	継続	■公園改修時や維持工事等において、樹名板を適時設置	■区民要望のある公園について、樹名板を設置	A	-	■継続して樹名板を設置	A	-	■継続して樹名板を設置	-	-	-			
80	120	ライトアップ明示板の設置	水辺の積極的な活用を図るために実施している橋でのライトアップを幅広く周知するため、ライトアップ明示板の設置を推進	河・下	-	計画 検討	整備	-	- (予算が確保できなかったことにより未実施)	■PR看板の掲載内容や設置場所の検討	A	-	■橋梁ライトアップの演出方法の見直しについて検討	A	-	■防潮堤へのライトアップについて試行実施	-	-	-			

②啓発イベントの充実 (1)水とみどりの意識啓発 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等							
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
81	121	打ち水大作戦しながわの継続	「打ち水」を区内一斉に実施することで、涼を取る水の効果を実感してもらい、環境問題への意識啓発を図る	環境	-	継続	継続	継続	■「打ち水」の実施(4,556人参加)	■「打ち水」の実施(6,600人参加)	S	-	■「打ち水」の実施(5,041人参加)	B	-	■「打ち水」の実施(6,000人参加)	・参加人数の拡大が必要 ・暑さ指数が高い日が続く、屋外活動が制限されることが多いので、期間を延長するなどの工夫が必要	・環境学習交流施設エコルとごし等も活用し、さらなる周知強化を図る	-			
82	121	みどりと花のフェスティバルの継続	「みどりと花のフェスティバル」を継続的に実施し、多くの区民がみどりに興味を持ち、ふれあう場を提供	公園	-	継続	継続	継続	■4公園でフェスティバルの実施(春・秋)	■4公園でフェスティバルの実施(春・秋)	A	-	■4公園でフェスティバルの実施(春・秋)	A	-	■4公園でフェスティバルの実施(春・秋)	・啓発活動やイベント内容の充実が必要	・関連する所管や町会等との連携を図る	-			
83	121	マイガーデンにおける収穫祭の継続	マイガーデンにおいて、農園利用者と地域の交流を目的とした収穫祭を継続的に実施	公園	-	継続	継続	継続	■収穫祭の実施:1回	■収穫祭の実施:1回	A	-	■収穫祭の実施:1回	A	-	■収穫祭の実施:1回	-	-	-			
84	121	品川区立環境学習交流施設エコルとごしでの学習	子どもたちや大人を対象とした水やみどりをテーマとした講座を新たな施設でも継続して開催	環境	-	継続(令和4年度開設)50講座/年	継続90講座/年	継続120講座/年	■50講座	■69講座	B	77%(69/90)/年	■87講座	B	97%(87/90)/年	■80講座	・企業や団体等、多様な主体と連携した講座の充実が必要	・施設の指定管理者が企画する事業計画への反映を依頼する	-			
85	121	「家族の思い出・記念樹」配布事業(仮称)	区民へ愛着のある樹木を配布し、自らみどりを育てることで、みどりに対する意識向上を図り、緑化を推進	公園	・地域の緑化推進 みどりの創出	協議・調整	協議・調整	協議・調整	■「愛される樹木を伝える事業」「権現桜」の接ぎ木を実施	■「愛される樹木を伝える事業」「児櫻」の接ぎ木を実施 ■「権現桜」の苗木を配布	A	-	■「愛される樹木を伝える事業」「学校の桜」の接ぎ木を実施 ■「児櫻」の苗木を配布	A	-	■「愛される樹木を伝える事業」「松」の接ぎ木を実施 ■「学校の桜」の苗木を配布	-	-	-			
86	121	地域住民との協働による河川や運河清掃	「立会川・勝島運河環境美化運動」を行い、地域住民と合同で地域の環境を美化し、河川浄化に対する区民意識の高揚を図る	河・下	-	継続	継続	継続	■地域住民や東京都と連携し、立会川・勝島運河環境美化運動を実施	■地域住民団体および東京都と合同で立会川・勝島運河の清掃活動を実施	A	-	■地域住民団体および東京都と合同で立会川・勝島運河の清掃活動を実施	A	-	■地域住民団体および東京都と合同で立会川・勝島運河の清掃活動を実施	・下水道局のポンプ所解体に伴い、規模を縮小して清掃活動を実施しているが、立会川雨水放流管工事完成後の開催方法を検討する必要がある	-	-			
87	121	目黒川・運河等の航行マナー啓発	他の船や周辺環境に配慮した航行マナーを呼びかける「目黒川安全航行啓発活動」を実施	河・下	-	継続	継続	継続	■目黒川・運河等の航行マナー啓発の実施	■目黒川・運河等の航行マナー啓発の実施	S	-	■目黒川・運河等の航行マナー啓発の実施	A	-	■目黒川・運河等の航行マナー啓発の実施	・目黒川航行マナー向上委員会の委員より、啓発活動に対する費用負担を求める声が上がっており、活動方法も含めた検討が必要	・費用負担については目黒川航行マナー向上委員会により討議を行う	-			

③教育との連携 (1)水とみどりの意識啓発 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等							
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
88	122	教育と連携した体験プログラムの実施	区内の水とみどりの多様なフィールドを活用し、区立学校の課外授業等と連携した体験プログラムを実施	公園	・しながわ水族館の活用(No.70) しながわ水族館との連携により、多様なプログラムを検討できる	継続	継続	継続	■しながわ水族館見学(区立小学校・義務教育学校の各学校1つの学年を対象)	■しながわ水族館見学(区立小学校・義務教育学校の各学校1つの学年を対象)	A	-	■しながわ水族館見学(区立小学校・義務教育学校の各学校1つの学年を対象)	A	-	■しながわ水族館見学(区立小学校・義務教育学校の各学校1つの学年を対象)	・連携体制の継続が必要	-	-			

①水とみどりの人材の育成 (2)水とみどりを守り育てる担い手の育成 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等							
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
89	123	みどりを守り育てる意識の向上	みどりの保全・育成活動を支える人材の育成に向け、それに関連した学習の機会や情報等を周知	公園	・地域の緑化推進 みどりの区民意識の向上	継続	継続	継続	■みどりの係に植物に詳しい職員を「緑の相談員」として配置し、区民からの相談に対応	■みどりの係に植物に詳しい職員を「緑の相談員」として配置し、区民からの相談に対応	B	-	■みどりの係に植物に詳しい職員を「緑の相談員」として配置し、区民からの相談に対応	B	-	■みどりの係に植物に詳しい職員を「緑の相談員」として配置し、区民からの相談に対応	・みどりに関する指導員などの人材育成について、学習機会の把握が必要	・関係する課から情報を収集する ・エコルとごしで予定している講座から、内容を把握し、情報を発信する	-			

②ボランティアの人材募集 (2)水とみどりを守り育てる担い手の育成 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等							
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
90	123	ボランティアの人材募集	水とみどりのボランティア活動への参加の呼びかけを継続して実施	公園	・地域の緑化推進 みどりの創出 みどりの区民意識の向上	継続	継続	継続	■広報誌や広報冊子を活用するとともに、チラシを作成し周知を実施	■広報誌や広報冊子を活用するとともに、チラシを作成し周知を実施	A	-	■広報誌や広報冊子を活用するとともに、チラシを作成し周知を実施	A	-	■広報誌や広報冊子を活用するとともに、チラシを作成し周知を実施	・事業の継続が必要	・みどりに関する意識向上を継続して図る	-			

①水とみどりの活動表彰 (3)水とみどりを守り育てる活動の支援 5 基本方針5:区民と行政が一丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)					今年度の事業予定	今後の事業推進上の課題と対応策等							
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度	事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等					
91	124	環境保全活動顕彰	優れた水とみどりの活動を展開している個人や団体の表彰及び、活動の紹介	環境	-	継続6件/年	継続6件/年	継続6件/年	■表彰件数:6件	■表彰件数:6件	A	100%(6/6)/年	■表彰件数:6件	A	100%(6/6)/年	■表彰件数:6件	・応募団体数の増加が必要	・当顕彰制度の周知を徹底する ・環境学習交流施設エコルとごし等も活用して周知を強化する	-			
92	124	みどりの顕彰制度の推進	「みどりの顕彰制度」の継続及び、建築事業者に対して積極的な緑化を促す	公園	・地域の緑化推進 ・民有地の緑化推進 ・事業者等のみどりに関する意識の向上 みどりの創出 みどりの区民意識の向上	継続4件/年	継続4件/年	継続4件/年	■表彰件数:2件(緑化賞)	■表彰件数:2件(緑化賞)	B	50%(2/4)/年	■表彰件数:1件(緑化賞)	B	25%(1/4)/年	■表彰件数:4件	・緑化に関する意識の向上が必要	・緑化に関する基準を周知及び適切な指導を行う	-			

③幅広い財源確保 (3)水とみどりを守り育てる活動の支援 5 基本方針5:区民と行政が丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等						
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	実施内容等			
93	125	基金、クラウドファンディング、ふるさと納税の活用	品川区地球環境基金を継続すると同時に、クラウドファンディングやふるさと納税などの活用を検討	公園	-	継続	継続	継続	■地球環境基金として継続運用	■地球環境基金として継続運用	A	-	■地球環境基金として継続運用	A	-	■地球環境基金として継続運用	■地球環境基金として継続運用	クラウドファンディングやふるさと納税など活用の可能性を考慮する必要がある	クラウドファンディングやふるさと納税など活用手法等の検討を行う	-			

③活動の支援 (3)水とみどりを守り育てる活動の支援 5 基本方針5:区民と行政が丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等						
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	実施内容等			
94	125	水とみどりの学習講座の開催	水とみどりの活動を支える人材の育成に向け、水とみどりの学習講座を開催	公園	・地域の緑化推進 みどりの意識の向上	継続	継続	継続	■職員を対象とした樹木点検員養成研修	■職員を対象とした樹木点検員養成研修	A	-	■職員を対象とした樹木点検員養成研修	A	-	■職員を対象とした樹木点検員養成研修	・職員の線に対する見識を深める必要がある	・継続的に研修を実施する	-				
95	125	助成制度に関する情報発信	水とみどりの活動に対する各種の助成制度を区民により活用してもらえよう、分かりやすい情報発信を実施	公園	・地域の緑化推進 みどりの創出 みどりの区民意識の向上	継続	継続	継続	■チラシを作成・周知 ■広報誌や広報冊子を活用し周知	■チラシを作成・周知 ■広報誌や広報冊子を活用し周知	A	-	■チラシを作成・周知 ■広報誌や広報冊子を活用し周知	A	-	■チラシを作成・周知 ■広報誌や広報冊子を活用し周知	・みどりへの意識向上を継続して図る必要がある	・継続的に事業の周知を図る	-				

④区民との協働 (3)水とみどりを守り育てる活動の支援 5 基本方針5:区民と行政が丸となって水とみどりを育む

整理番号	掲載頁	事業内容				達成目標			事業の進捗状況と達成状況(評価)						今年度の事業予定		今後の事業推進上の課題と対応策等						
		名称	事業概要	担当部署	相乗効果が期待される事業及びその理由	基準R3年度	中間R8年度	目標R13年度	R4年度の進捗		R5年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R6年度の進捗		現時点の達成状況(評価)		R7年度		事業推進上の課題	対応策	備考
									事業実績および検討状況	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	事業実績および検討状況	(5段階評価)	(中間年度に対する達成割合)	実施内容等	実施内容等			
96	126	みどりと花のボランティアへの支援	維持管理を担うボランティア活動に対する支援を行い、協働によるみどりのまちづくりを推進	公園	・地域の緑化推進 みどりの意識の向上	継続	継続	継続	■活動支援:176団体(1,220人)	■活動支援:175団体(1,219人)	A	-	■活動支援:180団体(1,206人)	A	-	■活動支援	-	-	-				
97	126	NPOやエリアマネジメント等の地域団体との連携・協働	区内で活動する地域団体を支援するために、連携・協働の仕組みを推進	公園	-	継続	継続	継続	■しながわ花海道(NPO法人)・大崎エリアマネジメントとの連携や協働を推進	■しながわ花海道(NPO法人)・大崎エリアマネジメントとの連携や協働を推進	A	-	■しながわ花海道(NPO法人)・大崎エリアマネジメントとの連携や協働を推進	A	-	■しながわ花海道(NPO法人)・大崎エリアマネジメントとの連携や協働を推進	・公園管理に伴う質の向上および地域連携の強化が必要	-	-				
98	126	区民の発案によるプロジェクト実現の仕組みづくり	区民等との協働の場を設け、区民アイデアを実践活動につなげるプロジェクトの仕組みを検討	公園 環境河・下	-	継続	継続	継続	■生物多様性地域戦略を包含する「品川区環境基本計画」の改訂に際し、有識者等で構成される「品川区環境活動推進会議」で諮問	■品川区環境基本計画の進捗取りまとめを実施(令和6年度の第3回会議にて、報告予定)	A	-	■第3回会議(11/16(土)開催)にて令和6年度の進捗報告(令和6年度より、「しながわSDGs共創推進プラットフォーム専門部会(環境)」に名称変更)	A	-	■令和7年度も区の環境分野のSDGsを推進するため、引き続き運営していく。	-	-					
99	126	地域が主体となった船着場管理・運営の検討	船着場の管理・運営のあり方について検討するとともに、地域団体等が主体となった船着場の管理・運営を推進	河・下	-	協議・調整	計画検討	運用	■五反田および五反田ふれあい水辺広場船着場管理委託に向けた協議	■五反田および五反田ふれあい水辺広場船着場管理委託(大崎エリアマネジメント)	S	-	■五反田および五反田ふれあい水辺広場船着場管理委託(大崎エリアマネジメント)	S	-	■五反田および五反田ふれあい水辺広場船着場管理委託(大崎エリアマネジメント) ■東品川海上公園船着場の管理の一部を地域団体へ委託(試行)	・主な業務が清掃業務のみであるが、予約業務などの管理業務も任せるとして、船着場を活用した水辺の活性化の推進が必要 ・他の船着場でも地域団体による管理の推進が必要	・他の船着場についても地域団体による管理に向けた協議を進めていく	-				
100	126	水とみどりの基本計画・行動計画の実効性を検証するための組織づくり	基本計画・行動計画の中で定めた数値目標や各施策の進捗状況を検証し、区民に周知する体制を検討	公園	-	調整	運用	-	■水とみどりの基本計画・行動計画推進会議	■水とみどりの基本計画・行動計画推進会議	A	-	■水とみどりの基本計画・行動計画推進会議	A	-	■水とみどりの基本計画・行動計画推進会議	・計画的な進捗を管理する必要がある	・毎年、事業の見直しをしながら、計画的な事業進行を図る	-				